

2016.12.22

日本全国、そして今後の海外進出の足掛かりとして、

東京オフィス開設

ジャム、ワインなどの製造小売業の株式会社サンクゼール（本社：長野県上水内郡飯綱町/代表取締役社長：久世良三）は、2016年12月19日（月）、東京都千代田区有楽町、新有楽町ビル11階に株式会社サンクゼール東京オフィスを開設いたしました。

サンクゼールの応援団のために。

現在、日本全国に300社以上にもなる弊社お取引先様は、サンクゼールの応援団と考えています。それは、弊社店舗の商品を作るメーカーだけではなく、弊社自社製造商品に欠かせない原料メーカー、ジャムなどの瓶や箱の資材メーカーから、販売を担う卸売先、店舗を運営するフランチャイジー、ディベロッパーと様々で、弊社発展のために多大なる尽力をいただいています。2013年「久世福商店」創業プロジェクト以来、根幹である日本全国の大小メーカーとの新規お取引より、年々応援団が増えております。

久世福商店の商品開発には、日本全国、現地、現場に実際に出向いたからこそ、発見でき誕生した商品も多数あるため、現地に外向くことは惜しまず、魅力ある商品開発には欠かせないものと考えています。しかし、時には、メーカー様に長野県飯綱町まで足を運んでいただくこともあり、特に遠方、地方のメーカー様にはご不便をおかけしておりました。また今後は、今以上に商品開発力とスピードが要求されると考えており、そのためには、東京に拠点を持つことが不可欠。日本全国のお取引先様とのコミュニケーションをより速く、より手軽に、より密に行い、タイムリーで魅力ある商品展開を行っていきます。

新業態開発に必要な最新トレンド・情報収集のために。

サンクゼールは、「Country Comfort」田舎の成熟した田園の恵みと、上質な時間を食卓へ。をコンセプトに、長野県飯綱町に本社の世界観をサンクゼールブランドとして発信していましたが、将来は「サンクゼール」ブランドと、「久世福商店」ブランドをさらに発展させるだけでなく、第3のブランド展開も必要だと考えています。新業態の開発に必要な日本の最新トレンド、情報が集まる東京。しかも古くから国内外の上質なトレンドを発信する銀座と、大企業本社のひしめく丸の内に隣接する有楽町地区の駅前に拠点を持つことで、常駐するスタッフの感性を磨き、ブランド発展を推し進めてまいります。

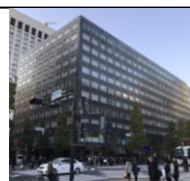
Eコマースに力を入れるために。

サンクゼールでは、成長市場として注目されているEコマース、とりわけパーソナルギフト展開に注力していきます。海外のトップ食物販ブランドと肩を並べてもひけをとらない企画力、構成力、センスなど、クリエイティブな業務に必要な最新情報収集に、東京オフィスが大きな役割を果たします。

有能な人材のために。

前述の通り、今後、新業態開発やEコマース等の戦略には今までにない人材が必要となります。本社長野県以外にも勤務地を設けることで、多様性に富んだ人材が集まると期待しています。

店舗名：株式会社サンクゼール 東京オフィス
開業日：2016年12月20日（月） 面積：約30.78坪
所在地：東京都千代田区有楽町1-12-1 新有楽町ビル11階
POTAL POINT YURAKUCHO Office06



ご多用中とは存じますが、ご取材賜りますように宜しくお願い申し上げます。